

I 安佐南区の概要

1 安佐南区の概要

(1) 地勢と現況

安佐南区は、広島市域のほぼ中央部に位置し、広島市で一番人口の多い区です。合併した旧4町の地区、①沼田地区（昭和46年合併）、②祇園地区（昭和47年合併）、③安古市地区及び④佐東地区（昭和48年合併）の4つの地区で構成されており、昭和40年代後半から昭和50年代にかけて、山地部を中心に大規模な宅地開発が進むとともに人口が増大したため、都市基盤整備が急務となり、市の中心部から北西部に至る祇園新道・中筋沼田線や広島高速4号線の開通、中四国地方で初めての新交通システム（アストラムライン）の運行など、道路交通網が整備されました。

広島広域公園のある沼田地区では、「住み」「働き」「学び」「憩い」「護る」といった複合的機能を備えた、都市拠点である西風新都の整備を進めています。一方、特産の広島菜の栽培（川内地区）などにみられるように、肥沃な農地が多く、市民への新鮮な野菜の供給地となっています。

都市化が進んだとはいえ、周辺には緑豊かな自然が多く残っており、こうした環境のなか、大学や高校など多くの文教施設もあり、文教地区の一面も有しています。

(2) 特徴

ア 規模の大きな住宅団地が多い

山地部の宅地開発が進み、西風新都内のA-CITYアベニュー花の季台やセントラルシティこころ、東亜祇園ニュータウン春日野など比較的規模の大きな住宅団地が多く存在しています。

イ 都心部に近接する中山間地域

安佐南区の西部に位置し、区内唯一の中山間地域である沼田町戸山地区は、高速4号線を利用すれば、市内中心部から車で約30分の距離にあり、緑豊かで里山の原風景が色濃く残る地区です。面積は安佐南区の約4分の1を占め、人口はおよそ1,800人です。

ウ 6大学2短大を有する文教地区

安佐南区には、沼田地区に①広島市立大学、②広島修道大学及び③広島都市学園大学の西風新都キャンパス、祇園地区に④広島経済大学及び⑤広島文化学園大学・同短期大学の長束キャンパス、安古市地区に⑥安田女子大学・同短期大学の六つの大学と二つの短期大学部があります。



- (3) 人口・世帯数面積（令和7年4月末現在）
 242,118人（全市1,170,378人の20.6%）
 110,787世帯（全市586,844世帯の18.8%）
- (4) 面積（令和6年10月1日現在）
 117.03km²（全市906.69km²の12.9%）

2 安佐南区のまちづくりの方向性（安佐南区アクションプラン）

安佐南区では、地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを目指し、広島市総合計画（第6次広島市基本計画）及び安佐南区アクションプランにおいて定められた、次の四つの方向性により進めていくこととしています。

まちづくりの方向性	
1	地域愛を育み、みんなで魅力を生み出すまちづくり 歴史・文化などの地域資源を活用し、住宅団地を始めとしたそれぞれの地域への愛着と誇りを育むとともに、住民、企業等の事業者、関係機関、行政（区役所）が協働し、魅力にあふれ、様々な人が訪れるまちづくりを進めます。 
2	みんなで支え合い、安全・安心・健康に暮らせるまちづくり 住民、企業等の事業者、関係機関、行政（区役所）がそれぞれの立場を担い、協働して地域の福祉や住民の健康づくりを推進するとともに、平成26年(2014年)8月の豪雨災害などの教訓を踏まえた防災力、犯罪を未然に防ぐ防犯力を高め、誰もが安全・安心・健康に暮らせるまちづくりを進めます。 
3	自然と共に豊かに暮らし、交流するまちづくり 里山や川などの身近な自然を保全・活用し、農林業の振興や中山間地の活性化、住民が自然と触れることのできる環境づくりに取り組み、自然と共に豊かに暮らし、自然を通じて人々が交流するまちづくりを進めます。 
4	地域と大学がつながり、活力あふれるまちづくり 大学と地域の交流・連携を促進し、大学の知的資源を活用した学びの機会の創出や、大学生のパワーやアイデアを生かした協働の取組により、地域課題の解決を図るとともに、文化的で活力にあふれるまちづくりを進めます。 